



大須賀林
自民党市議団の
・無所属

林野火災について

問 本年1月に相楽町で発生した山火事の概要と消火活動を伺う。

答 約3750㎡の林野が焼失したが、火事の原因特定には至っていない。消防署・消防団員による消火活動のほか、地元の人による農業用水の使用、三重県防災航空隊による上空からの消火を行った。

問 林野火災における本市の防火対策を伺う。

答 1月1日より林野火災注意報及び警報の条例の運用を開始し、SNS等で周知している。春の火災予防週間には広報や山間部の巡視警戒をしている。

渇水時における防火、消火活動の取組

問 節水強化中や断水時に火災が起きた際に

のように対応するののか。
答 節水が強化された場合は大型水槽車や河川、海水など自然水利を併用し消火活動を行う。断水時は消火栓が使用できないため、節水時と同様に自然水利などを併用するが、さらに不足する場合は隣接地域などへの応援要請も視野に入れている。

地域における防火対策について

問 市内のホース格納箱で窃盗被害があったと聞くが、市が補充する予定はあるのか伺う。
答 資機材は各地区の予算で整備されているため市費の補充は考えていない。



蒲郡市消防本部



伊藤享佑
市政クラブ

京都大学との共同研究について

問 OHBシステムの構築状況や進捗を伺う。

答 市役所新館屋上に観測用アンテナを設置し、グローバル衛星が捕捉可能となった。電離層及び地殻変動による異常を検知することでリアルタイム測位の精度向上が期待される。
問 今後の取組を伺う。
答 事前防災として消防や病院、学校施設等への連絡、避難所の開設準備及び市民への二次災害予防、避難場所への事前避難が考えられる。市民に対し防災訓練でのシステムの周知も必要と考える。

災害関連死防止策について

問 発達障害や自閉症等の特性により、やむを得ず在宅・車中泊避

難を選択する世帯がある。配慮が必要な避難者として、福祉サービスを優先的に提供する仕組みを検討しているか伺う。
答 現時点で、福祉サービスを優先的に提供する仕組みは検討していない。まずは避難場所の優先確保が重要と考えており、昨年、福祉避難所として新たに放課後等デイサービス事業所と協定を結んだ。また、市内の旅館やホテルの一部を福祉的ケアが必要な世帯へ提供する等、安心できる避難場所を確保した上で、福祉サービスを迅速に提供できる仕組みづくりを検討したい。



鈴木基夫
自由クラブ

蒲郡版クアオルトについて

問 クアオルトは単なるウォーキングではなく、専門家がしっかりと監修をし、負荷量や気候刺激を計算し、効果を測定する処方せんとしてのウォーキングと言われていて伺う。導入可能性について伺う。

答 本市には三河湾や里山など、豊かな自然環境や温泉を初めとした豊富な観光資源もあり、気候や地形を生かした健康づくりを展開できる素地があると認識をしている。

現在、クアオルト健康ウォーキングアワード2025に応募し、一次審査を通過しており、今後は二次審査の結果を踏まえ、関係機関と連携した住民参加型の蒲郡版のクアオルト健康ウォーキングに

ついて検討していきたい。
問 実践するために、企業や学校等との関わりをどのように考えているか。
答 市民全体が世代を超えて、日常の中で取り組むには、市民向けの健康ウォーキング教室の開催や、企業や学校と連携した取組等も進める必要があると考えている。

企業であれば、健康経営の一環として取り入れたり、学校では通学路や日常生活の中で歩きながら、健康づくりとあわせて、地域への関心や愛着を育む可能性を秘めていると考えている。

